

株式会社月永組 サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2026 年 8 月 25 日

株式会社北洋銀行
美原支店

1. 基本情報

企 業 名	株式会社月永組	
代 表 者 名	月永 智恵	
所 在 地	- 本社 北海道亀田郡七飯町大川 6 丁目 12-34 - 事務所 北海道函館市西桔梗町 783-180	
資 本 金	1,000 万円	
従 業 員	27 名 (2026 年 7 月現在)	
業 種	建設業	
事 業 内 容	- RC 建築物における型枠工事 - RC 建築物の新築・改修に伴う躯体工事 - 既存建築物のリノベーション工事 - RC 住宅ブランド「ツキトヒ」の企画・設計・施工	
沿 革	1940 年 1 月 1980 年 9 月 1989 年 10 月 2022 年 2 月 2024 年 8 月	月永勝治氏により個人創業 法人成り 月永勝芳氏が代表取締役就任(2 代目) 月永智恵氏が代表取締役就任(3 代目) 住宅ブランド「ツキトヒ」事業開始

2. 経営理念

経営理念

型枠工事で培った技術と誇りを未来へ継承し、建築を通じて人・文化・地域をつなぎ、型枠工事業と RC 住宅事業を両輪として、持続可能な価値を創造します。

経営方針(行動指針)

- ① 美しい建物を、美しく形にする。
型枠工事で培った高い技術力を礎に、安全・品質・工程を追求し、高品質な建築を実現します。
- ② 技術を次の世代へつなぐ。
「型枠大工を、次の時代へつなぐ。」を使命とし、人材育成と技能継承を経営の根幹に据えます。
- ③ 新たな建築価値を創造する。
型枠技術を活かし、新築 RC 住宅事業「ツキトヒ」で新たな暮らしの価値を提案します。
- ④ 社員の幸せと多様性を大切にする。
社員が安心して働き、成長できる職場環境づくりに取り組みます。
- ⑤ 地域とともに持続可能な未来を築く。
地域文化とのつながりを大切にし、建築を通じて人・文化・地域を結び、持続可能な地域社会の実現に貢献します。



月永組

TSUKINAGA



出所: (株)月永組 提供資料

3.事業概要

株式会社月永組は、1940年の創業以来、北海道道南地域を拠点に、鉄筋コンクリート造(RC)建築物の型枠工事を専門としてきた建設会社である。主力事業であるRC建築物の型枠工事では、施工図から寸法・数量の拾い出し、加工図の作成、木製型枠の加工、墨出し、建込み、コンクリート打設立会い、解体までの工程を一貫して担っている。長年培ってきた高い技術力と施工品質を強みとし、北海道新幹線や高度な施工精度が求められる建設工事にも携わってきた。

また、若手職人への技能継承と人材育成を重視し、経験豊富な職人から次世代へ技術をつなぐとともに、多様な人材が安心して働き、成長できる職場環境づくりを進めている。近年は、本業で培ったRC建築の技術と経験を生かし、RC住宅・マンションリノベーションブランド「ツキトヒ」を展開。既存建築を活用しながら、新たな暮らしの価値を生み出す事業にも取り組んでいる。型枠工事を事業の根幹としながら、技術継承、人材育成、既存建築の活用を通じて、新たな建築価値を創造し、地域とともに持続的に成長する建設会社を目指している。

こうした技術力と組織力を背景に、同社は清水建設等の大手ゼネコンと安定的な取引関係を築き、北海道新幹線工事なども任されている。これらの要素が相まって、同社は業界内で「型枠の老舗」として知られるとともに、「難しい現場を任せられる会社」「仕事が丁寧な会社」として施主・元請から高い評価を受けている。

■作業風景①



■創業当初の集合写真



出所: (株)月永組 提供資料

■RC 住宅・マンションリノベーションブランド「 ツキトヒ 」

本業である型枠工事で培った RC 建築の技術と経験を基盤に、RC 住宅・マンションリノベーションブランド「ツキトヒ」を展開している。ツキトヒは、RC 躯体の安心感を生かしながら、土や木、海藻などの地域の素材を取り入れ、現代の暮らしにふさわしい住空間を提案するブランドである。新築 RC 住宅に加え、既存 RC 建築物のリノベーションにも取り組み、「壊して建て替える」のではなく、「今ある建物を活かし、未来へつなぐ」という考えのもと、断熱・防音・設備等の性能を向上させ、既存建築に新たな価値を生み出している。

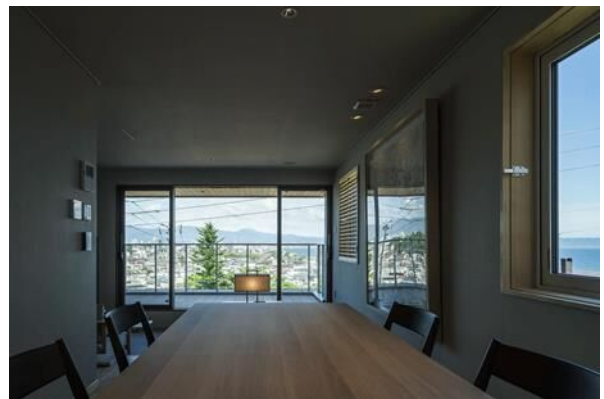
また、函館山麓にライフスタイルギャラリーを開設し、住まいの提案にとどまらず、地域の素材や手仕事、食、芸術などを紹介する場として活用している。今後は、「月日舎」を通じて、函館山麓の自然や地域文化を背景に、地域に根差した暮らしの魅力を体験・発信する場づくりを進めている。建築によって空間をつくるだけでなく、そこで生まれた人との交流や地域文化までを含めて価値を育み、ツキトヒによる「暮らしの価値」の提案を地域に広げる取り組みである。

本業で「建物の骨格」を支える型枠技術と、ツキトヒによる「暮らしの価値」の提案を両輪とし、技能継承や既存建築の活用を通じて、新たな建築価値の創造と持続可能な地域づくりにつなげている。

■「ツキトヒ」外装



■「ツキトヒ」内装



出所:㈱月永組 提供資料

4. サステナビリティ活動

(1) 環境面の取り組み

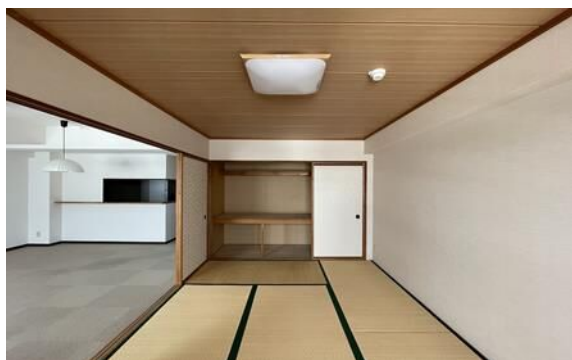
・既存建物の活用と地域資源を生かした環境配慮型の建築

同社は、「壊して建て替える」のではなく、「今ある建物を活かし、未来へつなぐ建築」を重視している。RC 住宅ブランド「ツキトヒ」では、新築住宅に加え、既存 RC 建築物のリノベーションにも取り組み、建物を永く使い続けることで資源の有効活用を推進している。

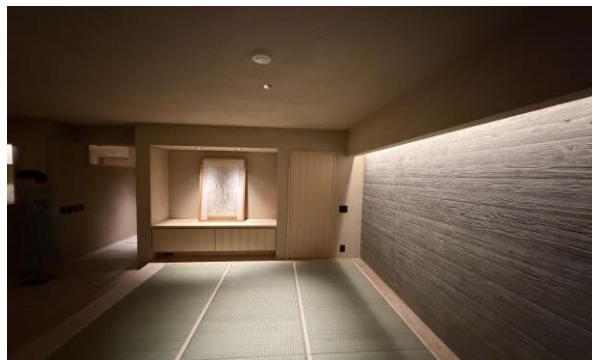
リノベーションでは、構造躯体を最大限活用しながら断熱性能・快適性・省エネルギー性能を向上させることで、CO2 排出量、環境負荷の低減に貢献している。さらに道南産の木材や土、がごめ昆布など地域資源を積極的に活用し、輸送エネルギーの削減や地域産業との連携を図るとともに「函館だからこそできる建築」の価値創出にも取り組んでいる。

「建物を永く使うことが、最も身近な環境貢献である」という考えのもと、建物の価値を未来へつなぎ、持続可能な建築の実現を目指している。

■リノベーション物件「ツキトヒ」～ビフォー



■リノベーション物件「ツキトヒ」～アフター



出所: ㈱月永組 提供資料

(2) 社会面の取り組み

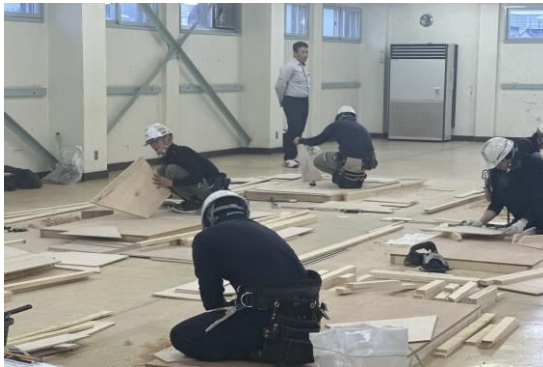
・働きやすさと技能継承を両立させる人事・福利厚生

同社は、「社員が幸せであること」を最も大切にしており、働きやすい職場環境の整備と技能継承の両立を図っている。男性を含む育児休業制度の運用や、年間残業時間を抑えた現場運営、酸素カプセルの導入などによる健康面への配慮に加え、資格取得支援制度や奨学金返還制度、リーダー手当・各種手当の整備を通じて、長期的なキャリア形成と生活の安定を支えている。

一方で、現場では、いわゆる「背中を見て覚えろ」という指導ではなく、学ぶ意欲のある人には丁寧に教える文化を根付かせている。長年現場を牽引してきたベテラン職人から、元自衛官や異業種出身者、育児と仕事を両立する職人、外国人技能実習生まで、多様な人材が互いの喜怒哀楽を共有しながら成長していくことで、型枠大工という専門職の魅力と技能を次世代へ引き継いでいる。

さらに、優秀施工者国土交通大臣顕彰「建設マスター」の受賞は、同社の高い技術力と技能継承への取り組みを示すものであり、人材育成を重視する企業姿勢を裏付けている。

■技能承継と人材育成の現場



■建設マスター受賞(優秀施工者国土交通大臣顕彰)



出所: (株)月永組 提供資料

■会社紹介ポスター①



■会社紹介ポスター②



出所: (株)月永組 提供資料

・地域文化・コミュニティとの連携と多様性の尊重

同社は、建設業としての役割にとどまらず、地域文化やコミュニティとのつながりを重視している。函館八幡宮の御輿渡御を支える瑞垣会の一員として、地域に受け継がれてきた祭り・神輿文化の維持・継承に継続的に関わっているほか、はこだて国際民俗芸術祭に協賛し、「月永組の台所」として出店するなど、食を通じた交流の場づくりにも取り組んでいる。これらの活動は、地域の賑わい創出や文化発信に寄与すると同時に、同社の事業やブランド価値の向上にもつながっている。

また、はこだて国際民俗芸術祭では、建設会社でありながら「アーティスト」として紹介され、「人が集い、つながる場所を形にする建築・ものづくりのプロフェッショナル」として評価されている。

女性経営者によるリーダーシップのもと、性別や国籍にかかわらず、多様な人材が活躍できる職場づくりを進めている。ミャンマーからの技能実習生に対しては、就業規則を母国語に翻訳して共有するなど、言語・文化の違いに配慮したコミュニケーションを心がけており、安心して働ける環境整備に努めている。

このように同社は、本業である建設業を通じて、人・文化・地域をつなぎ、地域文化の継承、多様な人材の活躍、地域との交流を推進することで、新たな建築価値を創造し、持続可能な地域社会の実現に貢献している。

■ はこだて国際民俗芸術祭への参画



■ 函館八幡宮祭礼文化の継承



出所：(株)月永組 提供資料

株式会社月永組は、「ツキトヒ」への取り組みや多様な人材・次世代の職人の育成、函館八幡宮瑞垣会およびはこだて国際民俗芸術祭への参加などを通じて、既存建築の活用と地域資源を生かした持続可能な建築を提供するとともに、人材育成と地域文化の継承により持続可能な地域づくりに貢献することを目指している。

北海道の老舗型粋工事業者として、変化する時代の中で北海道の未来を見据えながら、今後も事業活動を継続していく。

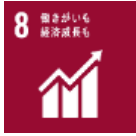
5.サステナビリティ目標

株式会社月永組の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、株式会社月永組の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、株式会社月永組のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	人的資本経営の推進
目 標 ・ K P I	① 役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。 ② 消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。